

エクトができる カーボンニュートラル

政府は2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、“カーボンニュートラル”を目指すことを宣言しました。一般的な工場は電気消費量のうち多くが生産設備のため、エネルギーを無駄なく効率的に使う工夫が不可欠です。ポピュラーなCO2削減の取り組み手法として、

- ①再生可能エネルギーで発電した電気を購入する。 ②生産設備を省エネ対応機器への買い替え。 がありますが、どちらも膨大なコスト・時間・労力が必要になるため、あまり現実的ではありません。

エクトの提案

作業を効率化し、少ない電気でも無駄なくモノづくり

従来、消費電力ゼロの手作業から

思い切って電気を消費する半自動化へ

ディスペンサー 1 台の設備投資、18Wの電力を使用し 作業時間を40%削減、CO2排出量を39.45%削減!

導入する設備 電子テープディスペンサーM-1000
設備投資額 ¥66,000
消費電力 18W



作業時間削減で消費電力量を最小限に抑え、CO2排出量削減を実現させます。

手作業と半自動化の比較シミュレーション

設備	消費電力 (W)				消費電力の合計 (W)	生産数 (個)	作業時間 (時間)	消費電力量 (Wh)	電気係数 (kg-CO2/kWh)	CO2排出量 (kg)
	ベルトコンベア	LED蛍光灯 4本	天井埋め込み型 4方向エアコン	電子テープディスペンサー M-1000						
現状 (手作業)	60	92	1,810	0	1,962	9,000	8.0	15696.0	0.447	7.016
半自動化	60	92	1,810	18	1,980	9,000	4.8	9504.0	0.447	4.248
作業を削減できた割合	0.00%	0.00%	0.00%	-	+0.92%	0.00%	-40.00%	-39.45%	0.00%	-39.45%

<消費 電力の参考> 電子テープディスペンサーM-1000×1台=18W DCモーター扇風機×1台=30W LED蛍光灯×1台=23W
※シミュレーション結果はあくまで参考情報としてご利用ください。 計算結果はあくまでシミュレーションであり、概算値を示唆・保証するものではありません。



【ホームページ】



【エクトができる SDGs】

ディスペンサーを使用して SDGs 10 目標に貢献

